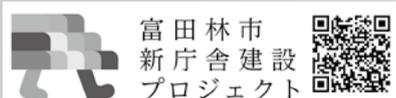


新庁舎建設事業

閩総務課（内線341）

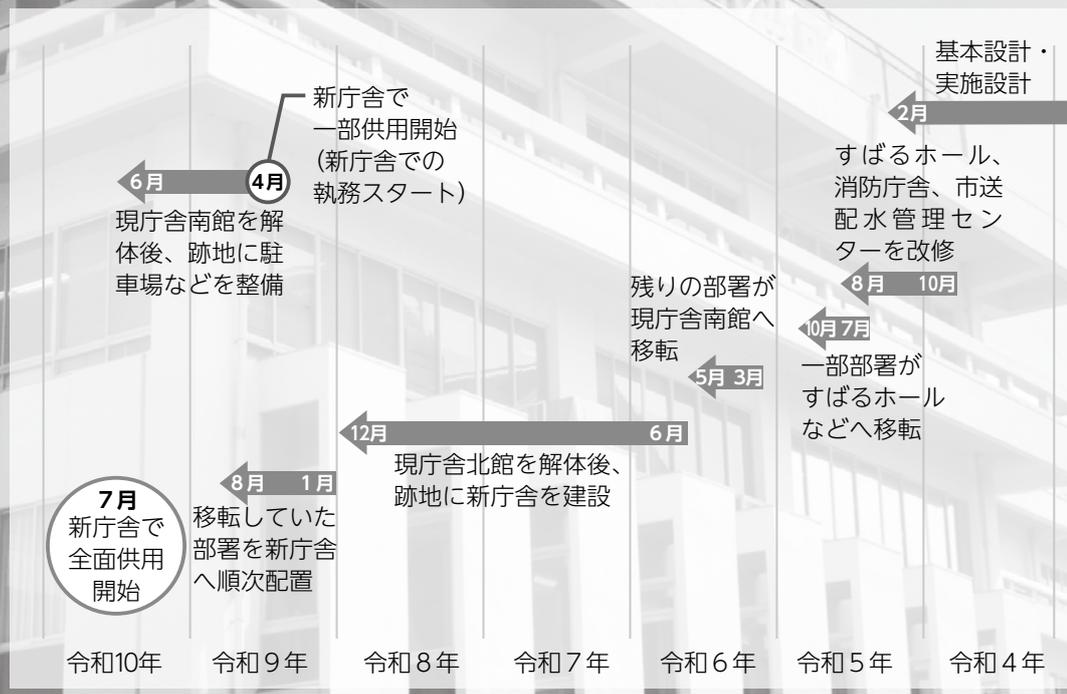
新庁舎の特徴や整備の手順、建設スケジュールの現時点の検討内容をお知らせします

2月号広報でもお知らせしたように、現在、市では新庁舎建設に向けて設計作業を行っています。
今回は、現時点で計画している整備の手順やスケジュール、新庁舎の特徴などについてお知らせします。
また、中間報告として、市民説明会を予定しています。



富田林市
新庁舎建設
プロジェクト

新庁舎建設事業について詳しくは、市ウェブサイト（新庁舎建設プロジェクトのページ）をご覧ください。



庁舎のコンパクト化を図り、建設費を抑制します

新庁舎建設では、デジタル化の推進やテレワークなどの業務改革を行うことで組織のスリム化をめざし、庁舎のコンパクト化を図ることや、建設中は仮庁舎を建てず、既存の公共施設を活用することで、建設コストを抑制します。

また、新庁舎の補完的施設として、市役所に隣接する消防庁舎の活用についても、併せて検討します。

すばるホールなどの公共施設への一時的な行政機能の移転

新庁舎建設中は、一部の部署を、すばるホールなどの公共施設へ一時移転します。

すばるホール4階「銀河の間」「秀月の間」、3階「アルデバラン」は、建設期間中は利用できません。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

移転先・移転対象部署

◇すばるホール

道路交通課、農とみどり推進

課、住宅政策課、都市計画課、商工観光課、金剛地区再生室、下水道課、文化財課、農業委員会事務局

◇消防庁舎

市議会、議会事務局、総合事務室

◇市送配水管理センター（甲田二丁目12の44）

上下水道総務課、水道工務課 ※「水道お客様センター」は引き続き庁舎内に配置予定です。

◇南河内環境事業組合 資源再生センター（大阪狭山市東池尻六丁目1622の1） 環境衛生課（ごみ収集部門のみ）

また、その他の部署については、現庁舎の南館へ集約するため、多くの部署で場所の変更があります。決まり次第、改めてお知らせします。

大規模災害への対応

新庁舎建設中の大規模災害に備え、業務継続計画（災害などの緊急事態に、被害や損害を最小限に抑えるための計画）を策定し、対応に当たります。

めざす新庁舎の特徴 ～5つの基本方針～

1 わがまち富田林・まちづくりの核となる市民が主役となり、誇りを持てる庁舎

・3カ所の市民交流スペースを配置し、それらの活用も含めた新たな市の拠点施設として、市の魅力を発信



2 地域と市民を守る災害に強く、安心安全な庁舎

・防災拠点としての機能を果たす耐震性能の確保



3 すべての人にやさしく、使いやすいくち

・市民生活に関する各種手続き関係を一元化し、「(仮称)市民総合窓口」を設置
・主に福祉関係の相談について、プライバシーに配慮した相談窓口を設置
・ユニバーサルデザインを意識したトイレなどの設備やサインの整備



4 自然環境に配慮する環境と共生する庁舎

・省エネルギー機器の導入や、再生可能エネルギーを活用



5 将来の変化に柔軟に対応できる経済的で合理的な庁舎

・将来の財政負担を考慮、できるだけコンパクトな庁舎
・維持管理を考えたシンプルな形態、容易にレイアウト変更可能なフロアの構築



※写真は全てイメージです。

市民説明会を開催します

現在設計作業中の新庁舎のプランについて、中間報告として市民説明会を開催します。

①金剛連絡所ホール

とき 4月15日(金)、午後6時～7時

定員 40人

②市役所401会議室

とき 4月17日(日)、午後2時～3時

定員 50人

※いずれも、当日直接会場へ。

岡総務課 (内線341)

新庁舎の概要 (案)

- ・北館・南館を含めた全面建て替えとし、また、現地建て替えとする
- ・免震構造、地上5階、地下1階(最上階(機械室など)を除く)
- ・計画延べ面積は1万2365.6㎡(地下駐車場、屋根付き駐車(輪場などを除く)

概算での建設コスト

事業費	本体工事費	約67.9億円
	駐車場工事費	約 1.1億円
	付帯工事(外構工事など)	約 2.6億円
	解体撤去工事費	約 7.5億円
	移転先改修工事費	約 1.3億円
	その他関連経費(調査・設計監理・移転・備品・建設支援事業)	約11.4億円
	計	約91.8億円

※財源については、地方債の発行と基金の活用を想定しています。